



京都市立病院 乳がん患者会 ビスケットの会

発足5周年記念
第16回定例会

【日時】 2015年11月14日（土）13時～15時
【会場】 京都市立病院 北館7階 大ホール

第一部 13:00-13:10

「ビスケットの会発足5周年記念によせて」
京都府がん患者団体等連絡協議会 会長

栗岡 成人 先生

第二部 13:10-13:20

5周年記念定例会開催のご挨拶
京都市立病院 乳腺外科 森口喜生 先生

第三部 13:20-15:00

「手のぬくもりは心のぬくもり
セラピューティック・ケアの実践と紹介」 (仮題)
認定NPO法人 日本セラピューティック・ケア協会
代表 秋吉美千代 先生

セラピューティック・ケアとは…

「治療力のある介護」の意味で、英国赤十字社考案の「手のひらだけで安らぎをもたらす」メンタルケアのこと。ふれること（手当て）に簡単なマッサージテクニック（なでる）を加えただけのシンプルな技術により、衣服の上から、椅子に座ったままで、「ハンド&アームケア」「ネック&ショルダーケア」「レッグケア」の3つのケアができ、リラクゼーションの増大・リンパの流れの活発化・自然治癒力を高める・スピリチュアルペインの緩和などの効果が期待できます。そして、それらについては、文京学院大学人間学部の長野祐一郎氏との共同研究により科学的検証を行い、エビデンスも得られています。日本セラピューティック・ケア協会は、病院・ホスピスでのボランティア活動や人材育成事業、小中学校・専門学校での普及啓発事業などを行っています。是非この機会に、ご家族も一緒に参加いただき、癒し癒される時間を共に過ごしてください。

秋吉 美千代 先生 プロフィール

(あきよし みちよ)

1938年 佐賀県生まれ 佐賀県出身
セラピューティック・ケア協会の代表講師として各種講演・講習を行い、人材育成や普及啓発、小中学校の福祉体験授業支援に努めるほか、保育士の資格を生かし、子育て支援にも力を注いでいる。

(社)佐賀県介護福祉会 顧問
日本ホスピス在宅ケア研究会 会員 ほか

ご家族の方も
ぜひ一緒に
ご参加ください。

